

## 9月1日は、『防災の日』です

**9月1日は、防災の日です。**この日は、政府・地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備することとして決められた日本の記念日です。

**この防災の日は、今から100年前の1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんだもので、**関東大震災の教訓を忘れないことと、この時期に多い台風への心構えをするという意味を含めて1960年（昭和35年）に制定されました。

毎年、9月1日の防災の日を中心に、8月30日から9月5日までを防災週間とされています。「家具の固定」「食料の備蓄」「防災訓練への参加」「ハザードマップの確認」等、災害に備える機会にしましょう。

「**天災は忘れた頃にやってくる**」この言葉は、寺田寅彦（てらたとらひこ、1878～1935）という物理学者の言葉です。寺田氏は、防災学者としても活躍し、地震・台風・火山等の被災地を調査し、そこから得た教訓だそうです。



## 平荘小学校のある場所は？

現在も台風が発生しています。私たちの地域でも油断はできません。平荘地区では、ちょうど本校が、土砂災害の危険箇所（ハザードマップによる）に指定されています。「いざ」というときに、自分の命を守るよう、家族で防災について話し合う機会にいただけるとありがたいです。

下の写真は、本校の玄関（職員室のドア）に掲示しているハザードマップです。



## 土砂災害時の避難確保計画 （2023年4月作成）



『土砂災害時の避難確保計画（市との連携）』は、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に係る法律第8条の2第1項に基づくものであり、本校施設の利用者災害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的としています。左図は、土砂災害時における経路図です。避難場所は、両荘中学校（施設の3階）となっています。

## 愛校デーでは、子どもたちも頑張りました

8月26日（土）は、愛校デーでした。子どもたちは、最初に教室で夏休みの課題を提出してから、各学年の草引き分担場所へ移動し、2学期のスタートが気持ちよくできるよう、草引きを頑張りました。



どの子どもも、一生懸命に草引きができました。後片付けの時にも、自分の抜いた草だけではなく、進んで草を集めに回る子どもたちの姿を目にすることができました。うれしい行動です。

約1時間の草引き作業でしたが、暑い中、よく頑張りました。お家の方にも大変お世話になりました。